

船舶事故等調査報告書

平成23年6月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第12号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成23年1月25日 07時20分ごろ	
発生場所	鹿児島県志布志市志布志港 志布志港南防波堤灯台から真方位356° 1,130m付近 (概位 北緯31°27.5′ 東経131°05.4′)	
事故等調査の経過	平成23年1月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 フ ユアン (カンボジア王国)、1,402トン 8622206 (IMO番号)、WEALTH REACH SHIPPING COMPANY LIMITED B 浮ドック 臥蛇Ⅱ、8,000トン（載荷能力） なし、吉留建設産業株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長A（中華人民共和国籍）、海技免状不明 B 作業員B、海技免状なし	
死傷者等	なし	
損傷	A 船首部に亀裂を伴う凹損 B 軽微な凹損	
事故等の経過	A船は、船長Aほか9人が乗り組み、志布志港で着岸作業中、B船は、作業員Bが1人で乗船して岸壁係留中、船長Aが着岸岸壁を間違っって着岸作業を行い、A船の船首部がB船と衝突した。 A船は、自力で入港予定岸壁に着岸し、1月28日出港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風速 約7～8m/s、視界 良好 海象：波高 約1.5m	
その他の事項	船長Aは、志布志港に初入港であった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、志布志港において着岸作業中、岸壁に係留中のB船と衝突したものと考えられる。 船長Aは、志布志港に入港するのは初めてであり、着岸岸壁を間違ったものと考えられる。 船長Aは、着岸作業中に後進をかける時期が遅れた可能性が考えられる。 B船は、志布志港の岸壁に係留していたものと考えられる。
原因	本事故は、志布志港において、A船が着岸作業中、B船が岸壁に係留中、船長Aが着岸岸壁を間違っただため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	